
君は隣に住んでいる

恋時雨

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

君は隣に住んでいる

【Nコード】

N0287M

【作者名】

恋時雨

【あらすじ】

中学一年生の少女の初めての恋の物語。突然引越してきた少年にコイをする少女。でもその少年はちょっといじわるで・・・でもムカつくけど大好きで・・・？ 少女と少年の恋は叶うのか・・・？

私は……。中学一年生の白鳥唯。

「唯一？今日はお隣にかっこいい人引越してきたらしいよ？！」
ってお母さんが言ってる……

「へーそうなんだ……」
って私はそう返した。

適当に返しとけばいいや。って思ったから。

そして次の日

「行つてきまーすっ！」

大きな声で言つた

そしてその大きな声と、ともに。ガチャ　　っという音がした。
よく見ると

ピアスをしていて髪を金髪に染めている男の子がいた。

その子はこっちに来て……

「なに？」と言つてきた。

「べつべつに／＼／＼なんにもないです！」

私はあわてたように言つた。

すると……その男の子はそつと近づいてきて……私にあわせるよう
に……しゃがんで……

「なに照れてるの？笑」

つと言つて笑つた。

からかわれたんだ。

なんか凄いムカついた

けど……なんだか……

胸が苦しくなった・・・

コレが恋なのかな・・・？

そして、あいつに会うたびにドキドキして・・・。私は今気づいた
あいつが好きなんだー。これが恋なんだ　って。

ある日の帰りの事

あいつが知らない女の子と話しているのが見えた
なんだか凄く嫌な気持ちになった。苦しかった。

胸が痛くて仕方がなかった・・・

その女の子が嫌いになった・・・

これが・・・ヤキモチなのかな・・・

私は自分の今の気持ちがよくわからなかった。

なんでかな・・・

涙が・・・出てきた・・・

泣いていると・・・。

あいつが来て

「どうした？なんで泣いてんだよ？！なんかあったのか？」
心配そうに聞いてきた。

「なんにもないよ／＼／」

すると　ぎゅっ　と抱きしめられた。

私はビックリして声が出なかった。

「泣くなよ・・・お前には笑っていてほしいんだ。だから・・・泣くな
よ。お前が好きなんだ」

またビックリした。ビックリの連続で死ぬかと思うほど。
嬉しいはずなのに・・・喜べない。

それほど・・・ビックリしていたんだ。

「私・・・も・・・わたしも・・・好・・・き」
泣きながら言った。

「よかった・・・すげえ嬉しい・・・」
私はその言葉を聞くと更に涙があふれでた。

私に・・・とって・・・

初めての恋

初めての気持ち

初めてのぬくもり

みんな初めてだった・・・

君が初めての人・・・

一生一緒にいたいな・・・

君もそう思ってるかな？笑

だったらいいなあ

『なに？ずっとみて』

「別に？」

『なんだよー笑』

「それよりさつ。あの時話してた子ってなんだったの？」

『あーあれはね。告白。』

「えー」

『大丈夫・・・一番は唯だから』

「あははは」

『わっ笑うな!!結構はずいんだからな・・／／／』

「いいじゃん。カッコイイ!!」

『よくねえ・・／／／笑』

「ねえ・・私達・・これから一緒だよね?」

『あたりまえ』

凄く嬉しい唯でした

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n0287m/>

君は隣に住んでいる

2011年1月16日02時01分発行